

Acanthus

金沢大学広報誌
[アカンサス]

No.6

2006 SUMMER

特集 | 新教育プログラム <ミニガイダンス> P.02

2007年度入学生へ
もうひとつのキャリア形成

2008年度入学生へ
知への探究心があふれだす

副専攻 × 3学域

【特集】新教育プログラム 世界を舞台に活躍する研究者 P.05 / 新・共通教育科目 P.06 / PC活用プログラム P.07 / データでわかる金沢大学の素顔 P.08 / キャンパス クルージングマップ P.08 / サークル紹介 P.10 / 学生インタビュー P.11 / 第四高等学校開学120周年記念イベント P.12 / 学都金沢 歴史探訪 P.13 / ニュース&トピックス P.14 / イベントカレンダー P.15 / セミナーのご案内 P.16

特集

新教育プログラム <ミニガイド>

2007年度入学生へ
もうひとつのキャリア形成

2008年度入学生へ
知への探究心があふれだす

副専攻 × 3学域

2004年度の法人化を機に、いま、金沢大学が大きく変わろうとしています。

その改革の大きな柱のひとつが「3学域構想」です。これは現在の8つの学部を再編して、学問におけるさらに大きな単位「学域」へ統合していくというもの。2008年度には、これまでの学部に加わって、「人間社会学域」「理工学域」「医薬保健学域」と、学域が3つ誕生します。また、学部から学域への移行期にあたる現在は「副専攻」を導入して、学生たちが主専攻以外でも、興味ある分野を専門的に学べるというキャリアアップ面を支援しています。今回は本学が取り組む先駆的な教育プログラムの概要を紹介します。



国立大学法人 金沢大学

学長 林 勇二郎

学問は、基本に根ざし新しさを取り込むことで発展しています。金沢大学は、地域の知の拠点として、学術研究に革新をもたらし、有為な人材を育成することで140有余年の歴史を刻んできました。本学が、教育を重視した研究大学として、将来の世代と地球に対する責任を果たすためにも、フレッシュで意欲的な諸君の入学を期待しています。



2007年度入学生へ

もうひとつのキャリア形成

副専攻

学生募集は“学科”で行います。

「こっちの分野も学びたい！」
という学生ニーズに応える

2007年度に入学する学生は、これまでと同じように、まず志望学部を決めて、その中に設置された学科で学ぶことになりました。

この「学部・学科制」では、入ろうと思った学部の専門教育の内容や、卒業後の進路などをよく把握しておくことが大切です。しかし、学問領域が複雑になり細分化している現在の教育プログラムでは、納得できるまでの事前調査や将来展望まで見極めることは現実としてなかなか難しいため、入学してから後、所属する学科とは異なる分野に興味を持ち、新たに学びたいと感じる学生が多いようです。

金沢大学では、そのような学生たちからのニーズを受け、彼らの学習意欲とキャリア形成を応援するため、従来の転学部・転学科制度

に加えて、自由に2つ日の専攻が履修できる「副専攻制度」を導入しています。2006年7月現在では、文学部・法学部・経済学部の3学部に導入がされており、文学部で93名、法学部で221名、経済学部で39名の計353名が「副専攻」を履修。そのほかの学部についても現在、導入を検討しています。

大学がキャリアを証明

大学を卒業するためには、決まった数の単位を取らなければなりません。単位の中には履修が義務付けられた「必須科目」と、学生が自由に選択できる「自由選択枠」があります。

副専攻は、この自由選択枠を利用し、「○○コース※」として、系統的に単位を取得してもらうことによって、主専攻のほかにもうひとつの専門キャリアを積んだことを大学が証明するシステムなのです。例えば文学部に在籍しながら、経済学部の「経済理論・経済史コース」を学ぶことも可能です。

また、受講希望者が多い人気の講義も優先して受講できることや、キャリアの証明が得られ、就職活動を有利に進めることができるなど、さまざまなメリットが期待できます。

※コース覧はP5に



2008年度入学生へ

知への探究心があふれだす

3学域

学生募集は“学類”で行います。

学域・学類とは？

「3学域」のポイントは、これまでの「学部・学科」から、より広い学問の領域を示す「学域・学類」へ代わること。8つある学部を、「人間社会学域」「理工学域」「医薬保健学域」の3つの学域へ再編することです。学域からは「学類」へ、さらに高等教育を行う専門コースへと枝分かれします。「人間社会学域」では6つ、「理工学域」では6つ、「医薬保健学域」では4つの「学類」が設けられています。

学問のボーダーを自在に越える

現代社会ではさまざまな分野で複雑化・深刻化が進んでいます。金沢大学では、それに対応する広範で未開拓な分野で、高度な専門知識と能力を持つ人材の育成を目

指しています。そのために必要だったのが、講座・学科目等に拘束されがちだったこれまでの学部・学科の壁を取り外すことでした。

「副専攻」導入のきっかけとなった「学びたい分野と出会ったときに自由にコース選択をしたい」という学生の要望は、「3学域制」になるとさらに柔軟化。学ぶ意欲に応じて、「学域」の中を自由に行き来し、学習設計の自由度が高まるシステムを導入しています。

キャリアデザインがより自由に

「学部制」では「文学部・文学科」を受験するというように、学科が学生募集の単位でした。一方、「3学域制」では「学類」を学生募集の基本単位とするため、希望「学類」を受験することになります。

「学類」に入學した学生は、最初は「学域」という広い単位で学びますが、同じ学域の中で開講されているものならば、なんでも受講することができます。やりたいと思っていた学問、あこがれていた学問、少し気になつていた学問、それらを自由に選択することができるようになります。

そして、自分が大学で何を学びたいかが固まる頃、コースの選択があります。これは学類により、2年生あるいは3年生のタイミグになります。自分が本当に学びたいもの。そこに、腰をすえて学び始めるのです。

現行

改組後

〇〇学部 ➡ 〇〇学域 〇〇学類

〇〇学科 ➡ 〇〇コース

これまでなかった大きなスケール。
豊かな「学問の世界」が
待っています。

学部制と3学域制はどう違う？【教育組織チャート】

学部・学科	現行
文学部	人間学科 史学科 文学科
法学部	法政学科
経済学部	経済学科
教育学部	学校教育教員養成課程 障害児教育教員養成課程 人間環境課程 スポーツ科学課程
理学部	数学科 物理学科 化学科 生物学科 地球学科 計算科学科
工学部	土木建設工学科 機能機械工学科 物質化学工学科 電気電子システム工学科 人間・機械工学科 情報システム工学科
医学部	医学科(6年制) 保健学科
薬学部	薬学科(6年制) 創薬科学科
入学定員:1,709名	



学域・学類・コース	改組後
人間社会学域	<div> 人文学類 心理学コース 人間科学コース フィールド文化学コース 歴史文化学コース 言語文化学コース </div> <div> 法学類 公共法政策コース 企業法コース 総合法学コース </div> <div> 経済学類 経済理論・経済政策コース 経営・情報コース 比較社会経済コース </div> <div> 学校教育学類(教員養成課程) 教育科学コース 教科教育学コース </div> <div> 地域創造学類 福祉マネジメントコース 環境共生コース まちづくりコース 健康スポーツコース </div> <div> 国際学類 国際社会コース 日本・日本語教育コース アジアコース 米英コース ヨーロッパコース </div>
理工学域	<div> 数物科学類 数学コース 物理学コース 計算科学コース </div> <div> 物質化学類 化学コース 応用化学コース </div> <div> 機械工学類 機械システムコース 知能機械コース 人間機械コース エネルギー環境コース </div> <div> 電子情報学類 電気電子コース 情報システムコース 生命情報コース </div> <div> 環境デザイン学類 土木建設コース 環境・防災コース 都市デザインコース </div> <div> 自然システム学類 生物学コース バイオ工学コース 物質循環工学コース 地球学コース </div>
医薬保健学域	<div> 医学類(6年制) 薬学類(6年制) 創薬科学類 </div> <div> 保健学類 看護学コース 放射線技術科学コース 検査技術科学コース 理学療法学コース 作業療法学コース </div>
入学定員:1,709名	

*医薬保健学域については国家資格取得を優先するため、他学域とコース選択の条件が異なります。

金沢大学には驚きの学問がいっぱいです！

世界を舞台に活躍する研究者

誰も見たことのない世界に挑む

鈴木 治彦 特任教授

専門分野: 数物科学

科学研究費補助金の中で最高ランクである「特別推進研究」に選ばれたのが鈴木先生の「マイクロK温度領域における量子臨界現象の研究」です。マイクロKとはゼロK、すなわち絶対零度(-273.15℃)に限りなく近い温度のこと。そして量子臨界現象とは、そんな超低温の世界で起きると考えられている、物質の振る舞いの変化のこと。先生は0.00005Kという超低温の世界を作り出し、世界で誰も見たことのない現象の謎を解明すべく実験を続けています。



“現代病”を肝臓から謎解く

金子 周一 教授

専門分野: 消化器の腫瘍、消化器の疾患の治療、実験病理学

沈黙の臓器と呼ばれる肝臓。金子先生はそこから多くの“ことば”を拾い上げます。体の恒常性を保つため、肝臓が日々やり取りしている膨大な分子から、さまざまな情報を読み取るのです。

現在、挑んでいるのは今世紀最大の課題といわれる「生活習慣病の克服」。先生が10年がかりで集めた世界最大規模の肝臓遺伝子情報をもとに、肝臓から体全体を見つめます。



古代中国のロマンを追う

中村 慎一 助教授

専門分野: 考古学(先史学を含む)

中村先生はアジア稲作の起源と展開や中国文明の起源、都市起源の比較考古学など、主に中国の先史考古学を研究課題としています。先史時代とは文字での記録がない時代。中村先生は物言わぬ埋葬品や発掘品からその時代の真実に迫ります。先生の研究「アジア稲作の起源と展開・中国文明の成立をめぐる比較研究」は、わが国の考古学振興に寄与する目的で創設された濱田青陵賞を受賞しました。



動くレントゲン写真を発明

田中 利恵 助手

専門分野: 診断学、治療学

田中先生は真田先生とともに「X線動態検査法」を発明し、特許を出願しました。先生の発明を簡単に表現すれば「動くレントゲン写真」となります。黒いバックに白い骨。お馴染みの肺のレントゲン写真からは、鼓動する心臓、呼吸に合わせて上下する横隔膜の動きを見ることが出来ます。他にもひざ関節や手関節など、さまざまな場所に適用でき、これを用いることによって精度の高い診断が可能になります。

また、田中先生は金沢大学の卒業生でもあります！



学部別・副専攻課程リスト

学部	副専攻として選択できるコース	
文学部	認知科学コース 基礎地域学コース 地域研究・日本コース 地域研究・中国コース 地域研究・東南アジア 南アジアコース 心理学コース 社会学コース 文化人類学コース 比較文化コース 哲学・人間学コース 日本史学コース 東洋史学コース	西洋史学コース 考古学コース 地理学コース 日本語学日本文学コース 中国語学中国文学コース 英語学英米文学コース ドイツ語学ドイツ文学コース フランス語学フランス文学コース 言語学コース 異文化コミュニケーションコース 日本語教育コース
	企業法コース 行政コース 福祉コース 国際法政コース 地域研究・英米コース	
	経済理論・経済史コース 国際社会・経済コース 公共・経済政策コース 経営・情報コース 地域研究・ヨーロッパコース	

文学部、法学部、経済学部などの学部にも所属していても、上記すべてのコースが選択可能です。



人・理・医 [3つ学域が目指すもの]

人間社会学域

「人間のこと、社会のこと。」

知の森を、自由自在に探索する。」

人間社会学域は、人間とその社会が直面する21世紀の激変に立ち向かうため、既存の学問領域の境界を自在に乗り越える多文化共生時代の人材を育てます。

理工学域

「創造力と技術力を身につけた

科学人をめざす。」

理工学域は、これからの自然科学を純粋な自然ばかりでなく、人為の影響を含めた自然をも対象とすることで、将来の世代と地球に対し責任を持って科学技術を推進する人材を育成します。

医薬保健学域

「最先端の知識と技術、

そして温かさのある医療人を育てる。」

医薬保健学域では、これまで個別に行われてきた医学系の教育を相互に連携して実施することで、有為なメディカルスタッフを育成し、豊かで質の高いQuality of Lifeを重視した患者本位の全人的医療の発展に貢献します。

学生サポート編

金沢大学には、学生たちが存分に学び、快適にキャンパスライフを送るためのプログラムが充実しています。

File.1

新・共通教育科目

学生の自立とキャリアデザインを、多彩なメニューで支援します。

興味を引き出し、伸ばし、そして将来を意識させる「自立のためのカリキュラム」

ゆとり教育や選択制の入試によって、現在、学生の「学びの格差」は大きく広がっています。そのため、金沢大学では2006年度より、1～2年生の全学部生が選択する授業「共通教育科目」を一新。学生たちに大学生活の基礎と、大学で学ぶことの面白さを知ってもらうと同時に、将来、自分が学びたいことを明確にイメージしていく「キャリアデザイン」のベースを身につけてもらうことを目指しています。

科目の中でも「導入科目」は、バラエティ豊かなカリキュラム構成が話題です。ゼミ形式の授業を体験したり、図書館の利用法を学んだり、健康論や薬物問題、留学、国際交流に目を向けるなど、授業内容は多岐にわたっています。

新・共通教育科目

導入科目

01 大学生としての基礎をしっかりと身につける「大学・社会生活論」

1回ごとのオムニバス形式で講義を展開。多彩な項目をテーマに、その道のスペシャリストが続々登場します。ときにはノートの取り方、ゴミの分別ルールなど、身近な話も飛び出しますが、「こんな基本的なことを？」と思わないでください。ノートのとり方は学問論へ、ゴミの分別ルールは環境問題へと発展し、これから大学で学んでいくさまざまな分野の学問の基礎となるように設計されているのです。最後の「就職・進学論」では、これからの4年間でどう有意義に過ごすかをまとめていきます。

情報処理基礎

02 “恋愛”というドキドキするテーマも登場！「初学者ゼミ」

大学の特徴のひとつが、ゼミ形式の授業。ここでは担当教員によって設定されたテーマ、あるいは自分たちで設定したテーマに対し、「調べる」「発表する」「文章にまとめる」能力を培います。自主的学習への動機づけを行い、大学教育全般に対する能動的学習へと導くことを目標としています。

言語科目

03 受験勉強で落ちた体力を回復しよう「体カリフレッシュ」

体育学の専門家が運動生化学・スポーツ科学・効果的なストレッチやトレーニングの方法を伝授。スポーツを習慣化し、体力が回復・向上することによって、充実した大学生生活を送るための心身の基礎が作られていくことをねらっています。

インターネットでのセキュリティや情報倫理、パソコンを利用した学習方法など、パソコンに関する基礎知識を学びます。それら情報化社会に必須の知識を、ノートパソコン必携化(PC活用プログラム)に合わせ、実際に自分専用のパソコンを操作しながら学んでいくことになります。

>> P7に関連記事

センター試験を利用し、学生の英語力レベルに合わせた履修アドバイスを受けることができます。外国人教員との英会話が必ず履修でき、TOEICやTOEFLなどの外部試験成績も単位化するなど、より実践的な内容となっています。

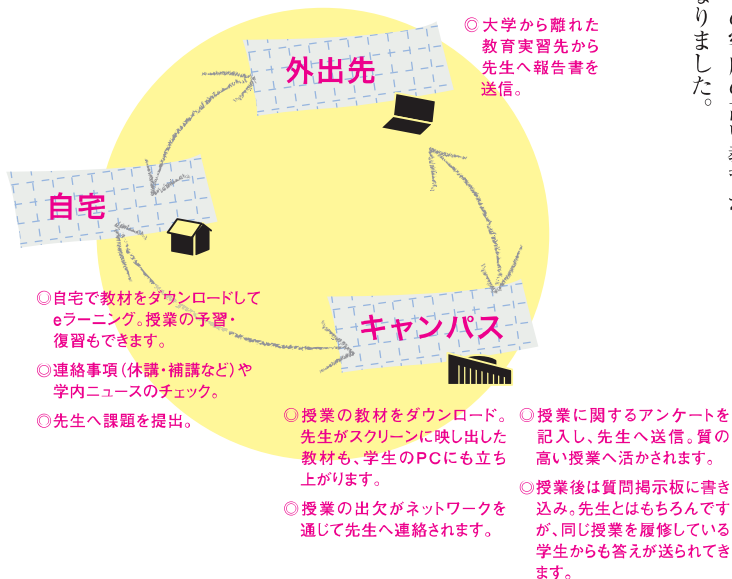




PCを使った情報処理基礎の授業風景



どんなふうに使っているの？
【ある金大生の活用例】



学びを応援する
「ユビキタス・キャンパス」

「高度情報化社会に対応できる情報処理の基礎能力・総合能力を持った人材育成」をテーマに、平成18年度からスタートしたICT活用の教育プログラム。角間キャンパスではすでに無線LANアクセスポイントが設置され、キャンパスから、自宅から、安全で便利にアクセスできる情報ネットワーク環境が整いました。これにより、Web-based(学習管理システム)など、学生に向けてさらに充実したメニューが提供でき、自主学習をバックアップ。また、金沢大学の特長である少人数ごとの密度の高い教育がより可能になりました。

File.2

PC活用プログラム

弁当忘れても、ノートPC忘れるな」は、
金大生の新ジョーシキ!



生協のパソコン相談カウンター



PCに関するお悩みと トラブルはおまかせ!

金沢大学 教育用携帯型パソコン 相談カウンター

PC操作やソフトの使い方などをおもに担当
大学会館2F/月～金8:30～18:00/土日休
み/毎年3月中頃よりオープン

金沢大学生協 パソコン相談カウンター

故障などマシントラブル系をおもに担当
大学会館1F/月～金9:00～18:00、土9:00
～14:00/日休み

学生のPCライフは、
2ラインでバックアップ

「インターネットはやっていただけ、大学に入学して初めて本格的にPCをさわった」という学生も多く、機種選びや購入方法、トラブルが起こったときの対処法について不安に思っているようです。ましてや授業で使うとなれば、セットアップや毎日の操作など悩みはつきません。そこで、金沢大学では学内に、大学が運営するパソコン相談カウンターと、生協が運営するパソコン相談カウンターの2つを設置。困ったときの駆け込み寺として、学生たちから好評です。

教えて、坂口さん! こんなとき、どーする?



金大生協の推奨パソコン販売コーナー。新入生の約80%が生協で購入。購入しない場合でもバックアップしてくれるので、学生たちに好評(有償)。

AQ

故障したときは?

生協のパソコン相談カウンターへどうぞ。生協で購入された金沢大学推奨仕様のPCは、4年間無償で修理をします。授業に支障が出ないように、修理期間に応じて無償でPCの貸し出しも行っています。(修理は内容によって有償の場合があります。)

AQ

トラブルが起きたら?

大学のパソコン相談カウンターや、生協のパソコン相談カウンターに持ってきてください。

AQ

4年間安心して使ってもらおう。

これが私たちのコンセプトです。



金沢大学生協
坂口辰彦さん

データでわかる

金沢大学の素顔

01 3番目に古い総合大学

金沢大学は文久2年(1862)に開設された加賀藩種痘所を源流としています。長崎大学、東京大学に続いて、日本で3番目に古い起源をもつ総合大学です。

02 研究する大学

学術の振興と優れた研究の発展を目的とする科学研究費補助金。平成18年度に新規で採択された件数(229件)は全国16位(文科省調べ)。

03 発明する大学

金沢大学は発明をどんどん支援する大学です。平成17年度には78件の発明届出がありました。そのうち技術移転されたものからの特許実施料収入は、平成17年度で全国12位となっています。

05 産業界と連携する大学

金沢大学は、企業などとの共同研究、受託研究を推進しています。平成17年度の共同研究・受託研究は259件です。

06 全国から学生が交流する大学

平成18年度の学部入学者(1840人)の出身地域は、北陸が48%、東海が18%、関東・甲信越が16%、近畿が9%の順になっています。

07 公務員試験に強い大学

平成17年度卒業生のうち国家Ⅱ種(行政)合格者数は98名。国公立大学中第2位。地方公務員合格者数も常に上位を占めています。(本学就職支援室調べ)。

キャンパスクルージングマップ

きみは何日でまわりきれるか!?

自然科学系図書館。今号の表紙はここで撮影!



- 16 自然科学5号館(理学部)
- 17 インキュベーション施設
- 18 中福利施設(食堂)
- 19 本部棟
- 20 保健管理センター
- 21 留学生センター
- 22 総合メディア基盤センター
- 23 南アカンサス・インターフェイス(連絡橋)
- 24 保健管理センター南分室
- 25 自然科学3号館(工学部)
- 26 自然科学2号館(理学・工学部)
- 27 自然科学1号館(薬学・理学・工学部)
- 28 自然科学本館
- 29 自然科学系図書館
- 30 南福利施設(食堂・売店)
- 31 環境保全センター
- 32 ペンチャー・ビジネス・ラボラトリー、ハードラボ1
- 33 金沢大学標石
- 34 国際交流会館
- 35 大学教育開放センター
- 36 角間ゲストハウス
- 37 創立50周年記念館「角間の里」
- 38 技術支援センター
- 1 北課外活動共用施設
- 2 埋蔵文化財調査センター
- 3 プール
- 4 教育実践総合センター
- 5 北福利施設(食堂)
- 6 文学部・法学部・経済学部棟
- 7 教育学部棟
- 8 体育館
- 9 附属図書館・資料館
- 10 総合教育棟、外国語教育研究センター、大学教育開発・支援センター
- 11 大学会館(食堂・売店)
- 12 エネルギーセンター
- 13 東課外活動共用施設
- 14 北アカンサス・インターフェイス(連絡橋)
- 15 共同研究センター

医学部分館



自然科学系図書館

中央図書館



04 図書館が3つある大学

金沢大学の図書館は中央図書館、自然科学系図書館、医学部分館の3館体制。蔵書数は約176万冊で北陸地区1位。最新学術情報が得られる電子ジャーナルも約5000タイトルという充実ぶり。6月から電子版書庫「KURA」で世界へ向けて論文などの学術情報発信を開始！

10 100円バスが走る大学

学生が多く住んでいるエリアと角間キャンパスを結ぶ区間で、現在、100円バスがテスト運行中。学生たちから好評です。



角間の里

09 里山を持つ大学

角間キャンパスの3分の1は緑豊かな里山ゾーン。「角間の里山自然学校」をはじめ、研究、教育、社会貢献とさまざまな目的に利用されています。

08 とにかく、ひろ～い大学

角間、宝町・鶴間、小立野、平和町、東兼六など各キャンパスを合わせた総面積は266万㎡。金沢城公園の9倍、東京ドームおよそ57個分。

Takaramachi Tsuruma Campus

宝町・鶴間キャンパス



医学部医学科、附属病院 など

- ① MR-CT棟
- ② MR-CT第2棟
- ③ 新中央診療棟
- ④ 北病棟
- ⑤ 西病棟
- ⑥ 東病棟
- ⑦ 第2中央診療棟
- ⑧ 臨床講義棟
- ⑨ 中央診療棟
- ⑩ 西外来診療棟
- ⑪ 外来診療棟
- ⑫ 臨床研究棟
- ⑬ 管理棟
- ⑭ 記念館
- ⑮ 十全講堂

- ⑯ 医学部A棟
- ⑰ 附属図書館医学部分館
- ⑱ がん研究所
- ⑲ 学際科学実験センター遺伝子研究施設
- ⑳ 学際科学実験センター実験動物研究施設

医学部保健学科

- ① 1号館
- ② 2号館
- ③ 5号館
- ④ 3号館
- ⑤ 4号館
- ⑥ 体育館
- ⑦ 福祉施設(食堂・売店)

- ㉑ 学際科学実験センターアイソトープ総合研究施設
- ㉒ 医学部F棟
- ㉓ 福祉施設(食堂・売店)
- ㉔ 課外活動施設
- ㉕ 医学部G棟
- ㉖ 宝町立体駐車場

金沢大学
バス停

至富山県井波町

D 駐車場

C 駐車場

P 駐車場

テニスコート

ラグビー場

ソフトボール場

金沢大学資料館では
四高ゆかりの
品々を展示。

Kakuma Campus

角間キャンパス

01 フィルハーモニー管弦楽団

「僕たちの演奏」を創造していきたい

年2度の定期コンサートのほか、オーケストラ・アンサンブル金沢と他校とのジョイントコンサートも開催。「クラシックは楽団によって解釈が異なり、演奏が違うので発見がある。お金を払えばプロの演奏が聴けるのに、金大の演奏を聴きに来るのは、金大の色の出た演奏を聴きたいから。だから僕らは、僕らの演奏をしなくてはいけない。」と団長・黒木圭介さん(理学部3年)は語る。音楽に思い切り打ちこめるのは学生時代だけ。わずかな時間を見つけては練習する団員たち。365日、部室から楽器の音が途切れない理由がここにあった。



>> フィルハーモニー管弦楽団の演奏はここで！

定期演奏会／1月13日(土) 場所：石川県立音楽堂

曲目：サン・サーンス「交響曲第3番(オルガン付き)」、シューベルト「ロザムデ序曲」、フォーレ「マスクとベルガマスク」

>> ホームページ

<http://kupo.sakura.ne.jp/>

サークル紹介

私たちの演奏会へ、ぜひお出かけください。夏の音楽特集

現在、金沢大学には、文化系サークルが41、体育系サークルが43あり、2,500名以上の学生が所属しています。

02 合唱団

音がピタッと合うと、鳥肌が立つ

総務・近藤淳さん(理学部3年)は金大合唱団の特徴は「発声」にあると言う。「腹式呼吸と声楽の先生によるボイス・トレーニングで、1年の夏にはホールの奥まで音が飛ぶような大きい声や高い声が出るようになる。団員数80名。圧倒されるような声量。」ソプラノ、アルト、テナー、ベース、みんなが一緒になって一つの音を作る。「合った瞬間がすごい。それを知っているから、みんな続けている。」50年以上も続く大阪大学混声合唱団との合同演奏会を終えた次の目標は、全日本合唱コンクール・全国大会への出場！



>> 合唱団の演奏はここで！

定期演奏会／1月20日(土) 場所：金沢市文化ホール

>> ホームページ

<http://chorus.sakura.ne.jp/>

03 モダン・ジャズ・ソサエティ ^(MJS)

人との出会いがMJSを成長させる

北陸では数少ないビッグバンドを擁する大学サークルで、全国からわずか40団体しか出場できない山野ビッグ・バンド・ジャズ・コンテストの常連。市内ジャズ喫茶でのライブも含め年10回ほどライブを開催。共演の社会人から演奏テクニックを教わり、年1回のOB・OGとのジョイントライブでは技術指導を受ける。また、関西の大学とのライブでもたっぷり刺激を受ける。「人とのつながりこそがMJSの土台、財産。」と語るのはバンドマスター・熊谷祐作さん(医学部3年)。現在、メンバーはジャズの醍醐味であるアドリブとビッグバンドの醍醐味であるアンサンブルを特訓中である。



>> MJSの演奏はここで！

定期演奏会／12月16日(土) 場所：アートシアターいしかわ(ラプロ7F)

>> ホームページ

<http://www.geocities.jp/kanazawams/>



学生 インタビュー

金沢大学 文学部 文学科4年
Toshie Mikami
三上淑恵

金沢大学の協定校である
フィンランド・ユバスキュラ大学に、
2005年8月より
2006年4月末まで、派遣留学。

「迷っているのなら、
絶対に留学に行つて！」

フィンランド・ユバスキュラ大学
への派遣留学から戻ったばかり
の三上さんは強く言った。

留学に行く友人が多かった三
上さんのもとには、留学に関す
る情報が多く入ってきた。その中
で金大の協定校への留学を選ん
だのは、やはり留学先での授業
料が免除されることが魅力的
だったからだという。「どの大学
に行くか?」決め手となったの
はフィンランドが学習到達度調
査(PISA)で世界一だといふこ
と。そして、授業が英語で行わ
れ、多くの人が英語を流暢に話
せることだった。

留学先を決めた後、大学の国
際課(現・学生部学務課留学生
第一係)からユバスキュラ大学から
戻ってきたばかりの先輩を紹介
された。先輩と話すことで、心
中に積もっていた留学先での不
安は解消され、モチベーションが

上がっていく。先輩からは現地の
友人も紹介され、どこで何が買え
るのかなど日常生活に必要なこと
を教えられた。

そして、フィンランドへ。多くの留
学生を受け入れているので、留学
生の受け入れ体制は充実してい
た。駅まではチューター(世話役)が
迎えに来てくれ、アパートは用意
されており、毛布など生活必需品
一式を渡される。週末だけホスト
ファミリー宅に滞在する「フレンド
シップ・ファミリー・プログラム」で
は、日本語を勉強しているユリア
ちゃん一家がフィンランドでの家族
になった。

留学直前に教育実習に行き、教
育への関心が高まっていた三上さん
は、日本では文学部に所属してい
たが、フィンランドでは教育学部に
所属。フィンランドでも教育実習に
行き、学生たちが「意志さえあれ
ば、勉強は自分でできる」と考え、
実践している姿に感銘を受けた。
困っていると、自分のつたない言
葉に耳を傾け、助けてくれたフィ
ンランドの人たち。外国の人のや

さしさに触れて、彼らのために何
かしたいと思った。そして、日本の
ことも以前より好きになった。
三上さんは、来年から地元北
海道で働き始める。自分の生ま
れた場所に来てくれる外国人の
手助けができる仕事をしたいと
思っている。



マイナス27度の冬に、チーズフォン
デュ・パーティを留学生同士で開き
ました。本場スイスのチーズフォン
デュを振る舞ってくれたダニエル
と、仲の良かったデンマークのア
ニーです。あのときのチーズフォン
デュは、今までで最高の味です！

Student interview Going abroad to study

留学サポートシステムについての関連情報

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_ryugaku/top/kaigai_ryugaku_jyoho.htm

PROFILE

1983年9月生まれ。北海道出身。幼い
頃からホストファミリーとして留学生を
受け入れていたため異文化に興味と
あり、高校三年の冬、英語を学ぼうと
金沢大学文学部進学を決意。現在は
同学部英語学コースにて、ことばと知
覚の関連性についての論文を執筆
中。趣味・特技はバスケットボールやボ
ディボード、書道など。座右の銘は好き
こそものの上手なれ!

金沢大学の 留学サポートシステム

派遣留学って?

「派遣留学」は金沢大学と交
流協定を結ぶ大学へ3カ月以
上1年以内で留学するという
ものです。協定校は全世界で
83大学。そのうち45大学は、
留学先での授業料が免除さ
れます。

どうしたら派遣留学 できるの?

6月頃 情報収集

派遣留学説明会に参加
大学HP「海外留学情報」
にアクセス

6~10月頃 応募

必要な書類を所属する
学部か研究科に提出

11月頃 学内選抜試験

合格すると協定大学
への留学候補者として
ノミネート

2~5月 希望する留学先に 願書提出

留学先大学から可否の
返事が来る
留学先大学決定!

8~9月 留学へ!

第四高等学校 開学120周年記念イベント ＜ご案内＞



01



02

学都金沢と第四高等学校の軌跡 ～日本近代を駆け抜けた若者たち～

金沢大学資料館、石川近代文学館、金沢市文化ホールの3会場で開催。当時の最先端教育と四高生の素顔が堪能できる展示およびシンポジウムです。

○会場／会期

金沢大学資料館

10月16日(月)～29日(日)／

四高生が実際に使った実験機器や教科書・ノート、成績表などから、彼らの“学び”を見ていきます。

石川近代文学館

10月16(月)～23日(月)／

四高生の学生生活、金沢とのつながりが分かります。

金沢市文化ホール

10月20日(金)／

開学120周年を記念したシンポジウムが開催されます。

○お問合せ

金沢大学資料館 TEL (076) 264-5215

四高開学120周年記念コンサート ～四高寮歌と金沢大学校歌による交響詩「北の都」～

「超然」の旗のもと、先輩から後輩へ、代々受け継がれてきた伝統の寮歌・校歌・応援歌を高らかに歌い上げます。金大フィルと合唱団が出演します。

○開催日

10月21日(土) 13:00開場、13:30開演

○会場 石川県立音楽堂 コンサートホール

○入場料 無料

○プログラム

指揮：四高卒業生・棚倉昭美

演奏・合唱：金沢大学フィルハーモニー管弦楽団・合唱団

曲目：南下軍の歌・夢享楽の・北の都に・緑の杯も・あゝ幽冥の・嗚呼北海に・去寮の賦・時の曠野に・砂丘の仮寝・雪影淡く・四高漕艇班遭難追悼歌・春は尾山の・金沢大学校歌

○お問合せ

四高同窓会事務局(石川近代文学館内)

TEL (076) 262-5464

金沢大学事務局 TEL (076) 264-6196



03

この秋、 金沢のまちに 四高が帰ってきます

「天下の書府」加賀藩から、
「学都」金沢へ

明治維新。百万石を誇っていた加賀藩がなくなり、人々が金沢のイメージアップを望んでいた矢先、国から高等中学校誘致の話が持ち上がります。候補は金沢の他にもありましたが、熱意により多額の寄付金が寄せられ、誘致の条件がそろったのはここ金沢だけでした。明治20年(1887)4月、全国のエリートが集まるナンバースクールのひとつとして、第四高等学校が開学、27年には「第四高等学校」と改称されました。人々が待ち望んでいた四高の設立は、金沢が学都として大きく発展する原動力となりました。

四高といえば、文武両道、バンカラ気質、そして地元・金沢とのつながり。人々は学生を温かく迎え、愛し、誇りとしていました。ときには、食堂の店員さんが四高生の袴を縫ったり、ボタンを付けたりしてくれることもありました。運動部が他校をおさえて優勝した日には、まち全体で夜通し祝うこともあったといわれています。

卒業生からは、井上靖(作家)、中谷宇吉郎(理化学博士)、八田與一(土木技師)など、世界レベルの著名人を多数輩出。昭和24年(1949)、金沢大学に包括されて、輝かしい六十余年の歴史に幕を閉じます。

今年2006年は四高開学120周年の節目にあたり、記念イベントが開催されます。彼らの熱い魂を感じにお出かけになってみませんか。

01 四高で使われていた物理実験機器。ウィーデマン氏鏡電流計(金沢大学資料館蔵)

02 昭和9年(1934)11月の時習寮記念祭祝賀行列(「四高時習寮記念写真帳」より/金沢大学附属図書館蔵)

03 携帯用熱線ボルトメーター。金沢大学資料館には四高関連の資料が展示されている。

学都金沢 歴史探訪

其の六

石川県師範学校



金沢城跡
広坂通り
県庁庁舎
石川師範学校
香林坊

01

金沢大学名誉教授

Fuji Itagaki

板垣英治

プロフィール
1934年兵庫県生まれ。現在は金沢大学名誉教授、同大TLO代表取締役、同大資料館客員研究員。研究・著作は「加賀藩の火薬、塩硝の調査、研究」「金沢医学館でのスロイス、ホルトルマンの医学教育の調査・研究」「硝石の舎密学と技術史」など多数。

小学校教員の養成はじまる

石

川県における小学校教員養成の始まりは、明治6年(1873)12月に旧経武館に開設された「別伝習所(べつでんしゅうじょ)」からである。生徒は金沢区内小学校の上級生のうち、十三歳以上の優等生が選抜され、漢文・和文・理科・数学などの教育を受けた。その目的は卒業生を小学校教師として充てることであった。

しかし、翌7年8月には兼六園・成巽閣の「英学校」の一面に「石川県集成学校」が設立され、別伝習所から小学校教員養成を引き継ぐことになった。当初は生徒60名、教員5名で、小学生教授法を指導した。当時の石川県の学事行政は旧加賀藩以来の教育的伝統を継承する姿勢をとったものであり、本校もその流れに沿ったものであった。ところが、同年の文部省の八等出仕・加納久宣による本県学事行政の視察で、これが強い批判のもととなり、同年11月22日には校名を「石川県師範学校」と急遽変更することとなった。

石川県師範学校には修業年限1年の小学師範科と、3カ月の下等小学師範科が置かれた。さらに、翌8年5月には「石川県女子師範学校」の設置、7月には「附属

小学校」の設置が行われ、師範学校としての教育体制が整えられた。同年10月には初代校長に野村彦四郎(石川県十等出仕兼任)が着任。このようにして本県の師範学校はスタートした。

この時に校舎は金沢・仙石町の変則中学校(旧明倫堂の地)に移転して、「公立仙石小学校」を附属小学校として開校した。明治9年10月には広坂通りの旧県庁西側の地に(01)男子・女子師範学校および男児附属小学校、男子生徒寄宿舎の新築と旧明倫堂の移築を行い、10年2月に完成した(02)。校舎はいずれも質朴な二字形二階建てであり、男子校は間口20間余、奥行8間で、当時としては珍しい建築様式であり、生徒たちは非常に立派な学校に入ったと心から誇っていた。明治11年10月3日午前、明治天皇は北陸巡幸において本校を訪れ、算術の授業などを見学された。

問題集」(C.Davisの代数学、I.Todhunterの代数入門の翻訳)、「幾何初歩」(C.Davisの幾何学書翻訳)等を用いて数学教育を行っていた。

本校は明治19年4月に「石川県尋常師範学校」と改称され、22年11月には新校舎が落成した。これが本県における小学校教員養成の黎明期である。



02



03

01 「加賀金沢細見図」(明治9年出版/金沢市立玉川図書館近世史料館蔵)

02 「第一師範学校 第四図」(石川県報告第三十号「明治十一年御巡幸之件」より/金沢大学附属図書館蔵)

03 関口開先生肖像画「関口開先生小伝」(金沢大学附属図書館蔵)

TOPICS 金大のいまがわかる

[ニュース&トピックス]

金沢大学のニュース&トピックスおよびイベント情報は、**金沢大学「アカンサス」ホームページ**でご覧いただけます。

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/ac/>

April

4/1 大学院人間社会環境研究科・薬学部薬学科・創薬科学科に改組

文学、法学、経済学研究科の修士課程と社会環境科学研究科の博士課程が統合され、文系の総合大学院として生まれ変わりました。薬学部は、薬剤師の養成を目的にした6年制の薬学科と研究者の養成を目指す4年制の創薬科学科に改組されました。

4/13

キャンパス美化

キャンパス美化の一環として、屋外の緑化活動が行われました。学長、金沢大学事務系退職職員の会である健康会、教職員、学生が参加して、クロバーの種をまきました。第2回目を6月5日に行い、今後も継続していく予定です。



May

5/9 法学部が石川県行政書士会と研修を開催

法学部と石川県行政書士会は、行政書士の研修を実施する覚書を締結。研修は年12回、角間キャンパス内の講義室

で開かれ、民法、民事訴訟法、行政手続法について本学教授、助教が講義します。司法制度改革に伴い成立した「裁判外紛争解決手続の利用の促進に関する法律（ADR基本法）」施行に備え、行政書士会員の法律知識向上を目的としています。

5/17

フォーミュラ研究会がアメリカ大会に出場

昨年の日本大会を制覇したフォーミュラ研究会が、アメリカ・デトロイトで行われた学生フォーミュラ大会「Formula SAE」に出場。世界13カ国から140チームが参加した中で37位となり、わずか41チームしかできなかった完走を果たし、完走賞を授与されました。



5/25

附属病院で県内初の脳死判定

附属病院で県内初の脳死判定が行われました。これは国内46例目、北陸では富山県に続く2例目となります。

June

6/1 熟練技術者による実践教育を実施

今年度より工学部では、製造業などで活躍した熟練技術者を外部より招いて、実践教育を実施しています。学生が高度な技術や課題解決力を身につけることで、高いレベルの技術者の養成を目指す。



6/1 角間の里が金沢都市美文化賞を受賞

「移築民家本来の空間特性を生かしつつ、周囲の里山景観と同調した施設として再生されている」と評価されました。



6/15

がん研究所・源利成教授「Nature」に論文掲載

がん研究所・源利成教授と米国2大学の共同研究グループが、大腸がんを悪性化させる「司令塔」的な働きをするタンパク質を発見。6月15日発行の英国科学雑誌「Nature」に論文が掲載されました。

6/17

南極教室を開催

南極の昭和基地と金沢大学をテレビ電話で結ぶ「南極教室」。自然科学研究科・尾崎光紀助手が第47次南極越冬隊に観測隊員として参加していることから、子どもたちの「科学する心」を育てる目的で開催されました。参加した地域の親子120人は、南極にいる尾崎助手に次々と質問を投げかけ、熱のこもったイベントとなりました。



6/17

平成18年度正常解剖体御還骨返還式・同慰霊祭を挙行

学生の解剖学実習のために御身を提供された28名の故人の御還骨が、金子周一医学部長からご遺族の元へと返還されました。併せて、平成16・17年度中に献体された66名および17年度に行われた病理解剖59名のご遺族が集まり、合同慰霊祭がしめやかに開催されました。学生、教職員を合わせ約500人が献花をし、故人のご冥福を祈りました。

EVENT CALENDAR

お気軽にご参加ください。

8月

- 4 新技術説明会(東京・市ヶ谷)
- 5 県民公開講座「がんとともに生きるには！」
(医学部十全講堂)
- 8.9 オープンキャンパス
- 10.11 理学の広場
～夏休み高校生のための理学体験セミナー～
- 23 ものづくり教室
- 24.25 金沢子ども体験塾
- 28 キャンパス内にコンビニがオープン

9月

- 21 21世紀COEプログラム国際シンポジウム
「革新脳科学」(医学部記念館)
- 25 21世紀COEプログラム国際シンポジウム
「環日本海」
- 28 9月期学位記・修了証書授与式

10月

- 10/7～ 北陸三県大学学生交歓芸術祭
- 11/26
- 16～29 資料館特別展「第四高等学校開学120周年
記念展示」
- 21 四高開学120周年記念コンサート(石川県立音楽堂)
- 26.27 文化祭(附属中学校)
- 28.29 第59回開校記念祭(附属高等学校)

11月

- 3～5 金大祭・医学祭
- 3 ふれてサイエンス、てくてくテクノロジー、
ひらめき☆ときめきサイエンス
- 18 県民公開セミナー「がん医療の最前線」(教育会館)、
マンドリンクラブ定期演奏会(金沢市文化ホール)
- 25 がん幹細胞研究セミナー公開シンポジウム
(医学部記念館)

12月

- 16 モダン・ジャズ・ソサエティ定期演奏会
(アートシアターいしかわ)

7月

7/1 附属病院が再編

外科部門が、心臓血管外科、呼吸器外科、肝胆膵・移植外科、胃腸外科及び内分泌・総合外科の5診療科に再編され、また、新たに乳腺科、脊椎・脊髄外科が設置されました。専門性の高い強力な医療チームに再編することで各臓器に特化した治療を行うことを目指します。それに先立って、5月1日には外来化学療法室を開設。外来のがん患者に対する、安全で効率的な投薬が可能となっています。

7/3 「量子染め」作品展

片山津温泉の源泉や柴山湯の湖底土を利用した「量子染め」の作品展が行われました。自然科学研究科・田崎和江教授が開講する「ゆつたり湯学」の学生たちが作成する、さまざまな色合いの作品が展示されました。



7/12 大学院GP、教員養成GPに採択

文部科学省が優れた大学院教育を選んで財政支援する平成18年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブに、医学系研究科保健学専攻の「臨地相互交流型教育・研究プログラム」が採択されました。このプログラムは「研究能力をもった医療人育成」と「医療現場からの課題を研究につなげる」ことを目的としています。また7月20日には教育学部の「WEB教育実習ノート」による自主学習の支援、なるため実習ノートを活用した高等学校教員養成における訪問対話型教育実習指導・評価システムの構築」が平成18年度「資質の高い教員養成推進プログラム」に採択されました。

7/14 学長研究奨励費交付式

「学長研究奨励費」は教員の指導と学生の自発的な学習、研究意欲の結びつきを一層推進することを目指し、1998年に創設されたものです。8年目を迎える今年度は17の個人・グループに授与されました。



お気軽にご参加ください【セミナーのご案内】

()内は会場。(サ)は金沢大学サテライト・プラザ。

公開講座

- 8/29・30 「教員のための手話講座 中級」(教育学部)
9/2・9・16・23 「音と光の科学」(自然科学研究科棟)
9/5・12・19 「薬局見学・体験ツアー」(薬学部ほか)
9/30、10/7・14・21・28、11/4 「和太鼓の打法と指導法入門」(大場町コミュニティセンター)
10/7 「一般向けサイエンストーク ナノサイエンスへの招待」(サ)
10/13 「AEDを用いた心肺蘇生」(サ)
10/14 「金沢の歴史遺産と文化景観 一地域文化財の資源活用一」(サ)
10/28、11/11 「子どもの自立への道をさぐる 現代の青少年問題へのアプローチ」(サ)
11/25、12/2・9 「人間と環境」(サ)

〔詳細情報〕http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/kaiho_c/kouza.htm

法情報センター北陸

裁判や裁判員制度をより深く理解してもらうための模擬裁判、市民講座・講演会を実施します。

- 9/2 刑事模擬裁判(サ)
9/30 市民講座「成年後見制度について」(サ)
10/29 市民講座「国民の司法参加」(サ)
11/4 市民講座「被害・犯行状況再現写真の証拠能力について」(サ)

〔詳細情報〕<http://www.jd.kanazawa-u.ac.jp/HOKURIKU/>

「サテライト・プラザ」ミニ講演

- 8/19 「暮らしの中の匂いと香り」国本浩喜〔金沢大学自然科学研究科教授〕
9/16 「クロモトロピズムの化学ー遷移金属錯体を例にー」井原良訓〔金沢大学教育学部教授〕
10/21 「『ドイツ中世史』等に関連するお話」田中俊之〔金沢大学文学部助教授〕
11/18 「『日本映画史』等に関連するお話」村井淳志〔金沢大学教育学部教授〕
12/16 「731部隊と金沢」古畑 徹〔金沢大学文学部教授〕

〔詳細情報〕http://www.ad.kanazawa-u.ac.jp/ad_koho/satellite/

地域経済塾

地域経済塾は、市民・企業人を対象として、大学教員や専門家によるマネジメント講座などを実施します。

〔詳細情報〕<http://www.ec.kanazawa-u.ac.jp/chiiki/juku/>

+ 北陸地域経済学講座

10/28、11/11・25、12/2or12/9(最終日未定)

会場：石川厚生年金会館(10/28)、ITビジネスプラザ武蔵(10/28以外) 事前申込必要・有料

+ 金沢ビジネスアカデミー

9/9・10・23・24 10/7・8・11・21・25

11/4・8・18・22 12/2・5・16・17(3月まで続く)

会場：ITビジネスプラザ武蔵

事前申込必要・有料

+ 地域経済研究・教育・連携サミットin金沢

9/30、10/1

会場：石川厚生年金会館

一般公開・無料

セミナーの詳細は金沢大学「アカンサス」ホームページをご覧ください。<http://www.kanazawa-u.ac.jp/ac/>



〔Acanthus アカントス〕
古代ギリシア・ローマに由来する植物で、和名を葉薊(ハアザミ)という。金沢大学校章のモチーフになっていることから、キャンパス内施設に名称が用いられるなど、長年にわたって学生や教職員に親しまれている。

〔表紙写真〕
自然科学系図書館
貸し出しや、返却本の出し入れをロボットが行う自動化書庫を設置。24時間開館しています。

〔編集後記〕
「すっきり」とした青空に、なかなか出会うことのできない今年の夏。でも、今号のAcanthus「どこかすっきり」していませんか？
それこそが「Acanthus」の「A」は広報室が「広報戦略室」に生まれ変わって初めての広報誌なのです。
表紙を見て「あれ？」
「デザイン、変わりました」
手にとってみて「おや？」
「紙質も、変わりました」
中身を読んで「おおっ！」
「記事、頑張りました」
そんなふうに思っていただければ嬉しいです。
これから夏は暑くなります。広報戦略室も夏に負けないよう、ホットなネタをどんどんピックアップしていきます。ぜひ本誌を手にとって、その「熱さ」を感じてみてください。